

その思いには、魂がある。  
心揺さぶる DNA を次世代へ繋いでいく。

# Corporate Philosophy

半世紀の間、愛グループで紡がれた言葉や育まれた企業風土。

その一つひとつに魂があり、企業としてあるべき姿を示しています。

刻々と変化する時代の潮流の中で、

つらぬいた企業姿勢〈コーポレートフィロソフィー〉を紹介します。

# 愛

CP | 01

愛グループは「愛」を尊び、慈しみ、スタッフが一つになって「愛」を考え、「愛」の心理を学び、究めなければならない。「愛」はいつの時代も我々の心の奥に息づいている。「愛」はどんなに時が移ろっても、絶えず人の心を動かし、人と人との絆を育む。

CP | 02

# 社是

1977年、会社の基本精神として打ち出された。

# 「社是 剛毅」

CP | 03

個々の強い意思を総括し、組織の強い意思に変えなければならない。強い意思を持った組織であれば、いかなるターゲットもクリアできる。



CP | 04

# 社是「熱血」

強靱な意思のうえに、この熱い血潮。血の沸きたつような激しい意気込みを添えるならば、ますます強力なパワーに変わる。

CP | 06

# 実践訓

1976年に神田代表が創業期の志士とともにまとめた10項目の実践訓。翌年、5項目に集約されたものが現在の実践訓である。

- 実践訓(10戒訓)
- 一 現状に優心するな現状をいかに過去の遺物にするかそれが君の運命を決する唯一の秘訣である。
  - 一 変化を求めよ変化はヤル気と信念ある努力をもって始めば確実な成果を生み出してくれる。
  - 一 うしろを振り向くな己の先を行くもの大を意欲として全力でそれを追い越すのだ。
  - 一 環境を左右する人間になれ環境に左右される人間になるな。
  - 一 知識に溺れるな行動力に優る知識は進歩を阻む常に知識に優る行動力をもっておくことだ。だがあまりにも低い知識の君は行動力もなく牛馬に等しい労働力しか生れてこない。
  - 一 疑われる人間になれ疑われる人間とは新しい問題を次々と解決して行く明眼な頭脳と勇気ある決断とことぞ致遠な実行力に満ちる。
  - 一 苦しみを超えて求める人間のことだ。
  - 一 ビンチで陥れるなチャンスは成功の可能性を秘めた大きなチャンスである。これを乗り越えれば新しい意欲と意欲が君を待ちかまえている。
  - 一 失敗を悔むなだが必ず反省せよ。しつかりした反省があればそこは卓越する英智と活力が湧き出て新しい目標が生れる。
  - 一 完全を追求せよ完全は綿密な計画と信念ある努力によって生れるものだ。
  - 一 サービスに徹せよ我々はサービスを売る仕事である。サービスとは誠意と親切がお客の心に信頼として反映することである。

# 「社是 真摯」

CP | 05

真面目でひたむきなことが何よりも大切であり、最後にはこの真面目さが勝利を収める。

CP | 07

# 愛グループ歌・愛唱歌

1975年6月、神田代表の友人である石原千秋氏の作詞、山野隆氏の作曲による愛グループの企業理念や精神が表現された歌「愛唱歌」を発表。

CP | 08

## 愛グループ十の誓い

2009年、愛グループ21世紀グランドデザインに向け、グループ全体の意識をさらに高め、結束力を強めるために「十の誓い」が立てられた。

## お客様第一主義

CP | 09



CP | 10

## 疾風に 勁草を知る

「激しい風が吹くと、風に吹き折れない勁草（強い草）を見分けられるようになる」の意。神田代表は、苦難に遭って初めて意志の強さが分かる、という自らの想いを重ね、2009年に著書「勁草」を上梓した。

「愛グループすべての事業の主役は、お客様である」という精神が企業理念に込められている。

CP | 11

めい めい の ころざし

## 冥冥之志

「人知れず心中に抱いて熱心に努力する志」の意。この志があるからこそ、神田代表の訓話は人生観を通して泉のように湧き出てくる。

CP | 12

## 募集にはじまり、 募集におわる



創業以来、互助会システムの理想として掲げている言葉。お客様が互助会に加入し、愛グループの施設やサービスに満足して再び互助会に加入するサイクルは、愛グループ発展の要であり原点でもある。

CP | 13

## ゆりかごから墓場まで

愛グループでは人生の節目である冠婚葬祭の儀式を一貫して取り扱う理想理念を表している。

CP | 14

## 必要なものを、 必要なときに、 必要なだけ、 供給する

(株)トレーダー愛の前身である(株)セレモニー通商が設立した際、流通システムの目標として掲げられた。

CP | 15

## 企業力は人財力

企業格差は人財の差、人財の格差は教育の差である。愛グループでは「人材」ではなく「人財」と表現する。

CP | 17

## 式典 創立記念

1982年に創立10周年を祝う記念式典を初めて行い、以来20周年、25周年、30周年、35周年、40周年、45周年と歴史の節目には創立記念式典を開催した。



CP | 19

## 代表訓話

毎月、スタッフに向けて掲示される神田代表による訓話。社内の業務をはじめ、それぞれの課題や時事問題まで内容は多岐にわたる。



CP | 18

## 忠 塾

神田代表の人生哲学を学ぶ忠塾は、管理者養成、後継者育成を目的とし、1998年8月に開塾。



CP | 16

## ネクスト・ スタンバイ

あらゆる事柄に周到な準備とチェックを終えて待つこと。確実に励行すればクレームの大半は防ぐことができる。



CP | 20

## 総合朝礼

月初にスタッフ全員が参加するグループ全体朝礼。現状と課題を共有し、グループ一丸となって業務に取り組む。



# 進発式

CP | 21



事業年度のスタートに、その年の目標や事業計画の発表を行う。また、社員表彰も同時に行い、全体の士気やモチベーションを高め合う。



CP | 24

# 愛グループの基本三作法

セレモニーに携わる一員として、愛グループでは基本三作法に「スマイル」「立礼」「身だしなみ」を掲げている。



CP | 22

# 社内報「CAT」

1975年に創刊した社内報「互助の輪」は、1979年「日本セレモニー」に社名変更した際、Comrades to Aim at Triumph(勝利を目指す仲間たち)の頭文字を取って「CAT」に改称。主に、社内の動きや店舗情報、社員紹介を行う。

CP | 23

# 会報誌「ふれあい」

1977年に創刊した、ふれあいの前身にあたる「互助の輪」は、1978年に会員向けの広報誌「ふれあい」に改称。主に、愛グループの施設情報や最新情報を紹介し、会員の皆様とのコミュニケーションツールとしての役割を果たす。

CP | 26

# 営業会議・中間営業会議

各地区の店舗責任者が山口県本社に集って行う会議。毎月2回、統計データやアンケートを基に神田代表がさまざまな角度から指摘する。問題点や改善点は全員で共有し、全体のレベルアップを図る。

(リスク・マネージメント)

# 危機管理

CP | 25

どんな優良企業でも、偽装や隠蔽などが発覚すると一夜にしてワースト企業に転落する。判断を誤らないためには平素からリスク・ヘッジの心構えや想定外を想定したシミュレーションの反復が重要である。天災は避けようのない因果だが、人災は未然防止が可能である。

CP | 27

# EC／幹部会議 MC／経営会議

毎月中旬には、EC(Executive Conference)、下旬にはMC(Management Conference)を開催。社内の重要案件を協議し、決定から実行までのスピード化を図る。

CP | 28

# 部門別会議

営業会議後、各部門責任者によって行われる会議。本社やトレーダーなどからの提案や共有事項を話し合う貴重な場でもある。

CP | 29

# 地域オンリーワン会議

月1回、地区ごとに各部門の責任者が集結する会議。それぞれの地域内の情報や知識を共有し、部門の垣根を越えて地域オンリーワンを達成するための施策を話し合う。



CP | 31

# FIVESTAR WEDDING AWARD

2015年にスタートした「AI'S コンテスト」が、2018年「FIVESTAR WEDDING AWARD」に名称変更。コンテスト形式でチームが一丸となってウエディングと向き合い、よりよい結婚式の形を探求している。



CP | 32

# 生きる、お葬式。AWARD

2018年よりフューネラル事業部で開催されている社内コンテスト。「生きる、お葬式。」のコンセプトに則り、故人様のお人柄やご家族の想いをしっかりヒアリングし、いかに葬儀に反映されてお客様に満足を得られたか、が評価のポイントとなる。

CP | 30

# 資格チャレンジ制度

サービスレベル維持向上のため、「葬祭ディレクター」「ソムリエ」「お墓ディレクター」「介護職員初任者研修」「色彩検定」など各種資格取得支援を行っている。